



1975年に米国ニューヨークのオフ・ブロードウェイ初演から、今も輝き続ける話題のミュージカル、劇団四季の「コーラスライン」が来年1月24日、倉吉未来中心大ホールで開かれる。劇団の数ある作品の中でも、重要な作品のひとつとして上演され続け、「四季ミュージカルの原点」と称される名作。新作ミュージカルのオーディションに、全てをかけるダンサーたちの物語がステージいっぱいに繰り広げられる。

ミュージカル「コーラスライン」は、原案・振り付け・演出を手がけたマイケル・ベネットが、ダンサーたちとの会話を基に実話をつづった物語。

1976年のトニー賞で、最優秀作品賞をはじめとする9部門を独占した。

ニューヨーク開幕から4年後、劇団四季の「コーラスライン」が誕生し、大きな反響を呼んだ。現在も上演を重ね、劇団にとって「キャッツ」や「ライオンキング」と並ぶ大切なレパートリーとなっている。